

日ラグ協発第 13-665 号

平成 26 年 2 月 17 日

関東ラグビーフットボール協会

会長 貴島 健治 様

関西ラグビーフットボール協会

会長 坂田 好弘 様

九州ラグビーフットボール協会

会長 徳田 昇 様

(公財)日本ラグビーフットボール協会

専務理事 矢部 達三



「IRB 世界的試験実施ルール ラグビー用ゴーグル使用」について

(通達)

拝啓、平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、競技規則につきまして、IRB よりこのほど、下記の通り、ラグビー用ゴーグルの使用に関する世界的試験的実施ルールに関する通達が出されました。

日本協会でもこれを受け、ここに通知いたします。

貴協会におかれましても加盟都道府県協会、および、各チームに周知徹底いただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

参考資料： IRB ウェブサイトリンク（英語版）

www.irbplayerwelfare.com/goggles

記

試験実施ルール：ラグビー用ゴーグル

(IRB 通達文書抄訳)

2013年11月のIRB中間理事会において、プレーヤーにさらなるリスクが生じることなく使用できるよう、ラグビーユニオン競技専用にデザインされたゴーグルの適合性を評価するための世界的試験実施ルールの導入が承認された。

世界的試験実施ルール

試験実施ルールの内容は、プレーヤーがラグビー用ゴーグルを購入し、フィードバックを提出することを認める、というものである。プレーヤーが使用できるものはIRBが試験的に承認したラグビー用ゴーグルに限り、ゴーグルの着用が必要なことを明記した眼科医または同等の専門家による証明書を、試合を担当するレフリーに提出することが必要となる。

試験実施中に着用が認められるのは、以下の2種類のプレーヤーである：

- (i) 補正レンズの着用が必要なプレーヤー
- (ii) 視力を低下させる、あるいは、片目を失明した、慢性眼疾患のあるプレーヤー

ラグビー用ゴーグルは、これらどちらかにあてはまるプレーヤーに特別な防護措置を与えるために作られているわけではないが、(ii)のカテゴリーのプレーヤーについては、本人が有益と考えるならば、そのような目的で着用してもよい。上記の理由による着用の必要がないプレーヤーによる、ラグビー用ゴーグルの一時的な着用は認められない(例えば、眼に怪我をしたため、治るまでの間、など)。

プレーヤーによるラグビー用ゴーグルの購入が可能となるのは、2014年1月13日からとなる。

協会による参加

この世界的試験実施ルールに参加し、試験着用を行うことができるのは、同試験実施ルールに参加することに同意した協会に所属するプレーヤーのみである。各協会は、管轄内のプレーヤーがラグビーゴーグルを着用できるよう、添付の「協会による参加同意書(Union Participation Agreement)」に署名し、これを遵守することが求められる。

これはIRBが承認した試験実施であるため、ラグビー用ゴーグルを着用しているプレーヤーが、他のプレーヤーからの抗議により試合への参加を妨げられてはならない。ラグビー用ゴーグルを着用したうえでのプレーや、ラグビー用ゴーグルを着用したプレーヤーとの対戦に危険を感じるプレーヤーが、その試合から退出することは自由だが、着用しているプレーヤーを退出させることはできない。この世界的試験実施ルールにおいて、各協会は、その役割の一環として、ルールの内容や、本文書に掲載されている情報、そして、IRBプレーヤーウェルフェアのホームページに掲載された情報を、プレーヤー、チーム、スタッフらにきちんと伝達することが求められる。

ラグビー用ゴーグル

今回の世界的試験実施ルールに関する情報はすべて、www.irbplayerwelfare.com/goggles で誰でも閲覧できる。ラグビー用ゴーグルの購入を希望する者は、IRB が連絡先を把握できるよう、「IRB Passport システム」への登録が必要となる。基本的な必須情報を送ると、各登録者に購入 1 回分の購入コード(UPC)が付与され、メーカーのウェブサイト上でのラグビー用ゴーグルの購入が可能となる。また、購入を完了するには、メーカーでの登録も義務付けられている。この試験実施ルールへの合意なしに購入することはできず、合意の際に提出された情報は、情報収集とフィードバック回収に利用される。

購入時のラグビー用ゴーグルに度付きのレンズは付いていない。プレーヤーは、ラグビー用ゴーグルの製品を受け取ったら、眼科医に持参し、メーカーの指示に従ってプラスチックレンズを入れてもらう必要がある。矯正レンズが必要ではないプレーヤーは、メーカーの指示に従って、挿入されているレンズを取り、ゴーグルを受け取った状態で使用してもよい。

フィードバックについて

試験実施ルールの終了時、ゴーグル使用者はフィードバックの提出が求められる。また、試験実施中のフィードバックも積極的に受け付けている。フィードバックはすべて、IRB プレーヤーウェルフェアのウェブサイト上からオンラインで提供してもらう。

世界的試験実施ルールによるすべての使用者からフィードバックを回収し、できる限り包括的な回答が得られるよう、各協会には、管轄下でゴーグルを着用するプレーヤーに関してサポートを要請する。使用者から協会への問い合わせが極力少なくなるよう、IRB プレーヤーウェルフェアのホームページ上によくある質問に答える FAQ コーナーを設けてあり、適宜更新していく。

以上